

中宮まぶね保育園 1月の園だより

2022年1月4日発行

謹んで新春のお慶びを申し上げます。おかげさまで、本年も無事年を越すことができました。振り返ると、昨年もコロナ禍で引き続き制限された状況もあり大変な年で、世の中のいたとて厳しい環境の1年でした。そんな状況下でも保育園で勤めていますとありがたいことで日々成長を見せる子ども達の姿に元気をもらい温かい気持ちになれました。

さあ、年も変わりました。今年はよい一年となるように願って、一日一日を大切に子どもたちと過ごしていければと思っています。

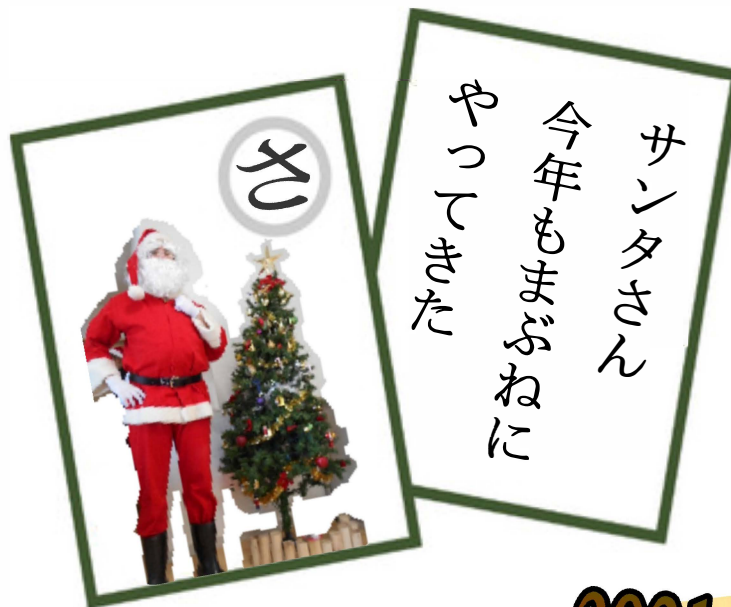
中宮まぶね保育園 園長 松尾 太郎



1月生まれのおともだち

こおろぎ組(3歳になります) てんとう組(4歳になります)

みつばち組(5歳になります) とんぼ組(6歳になります)



【今月の聖書の言葉】
「子よ、元気を出しなさい」
(マタイによる福音書 9章2節)

コロナ禍で迎える2度目の年末年始ですが、皆様はどのような過ごしになられるでしょうか。私たちは時に、病気やケガで身動きが取れなかったり、ひどく疲れ落ち込んだり、悲しみにふさぎ込んだり、様々な理由から元気が出ない時があります。そして、そんな時に周りの人たちから「元気を出して」と言われても、素直に受け取れないこともあります。聖書は、そんな私たちに「元気を出しなさい」と語りかけています。

イエス様は体の麻痺した人に向かって、この言葉をかけられました。現代では体の麻痺について、その原因を解明することができますが、当時は悪霊のしわざや、たたりだと考えられていましたので、そのような人は世間から差別され、忌避・隔離されていました。しかし、この人には、彼のことを担架に載せてイエス様の前にまで運んでくれた友人たちがいました。イエス様はそのようなみんなの働きに心打たれて、「子よ、元気を出しなさい」と言われました。言い換えれば「この方々と一緒にいるあなたは、元気を出すことができますよ」ということだったのではないのでしょうか。

「元気を出したくても、元気を出せない」……。そんな時でも、私たちは一人ではありません。クリスマスに神様が人間となったということは、私たち一人一人の働きの中に、神様が共におられるということです。私たちはこの新しい年も神様と共にあって、守られながら、周りの方々と共に生きる歩みへと導かれて行きます。

(チャブレン・牛田匡)

	日	月	火	水	木	金	土
1月の行事予定	1月 元旦						1
	2	3 休園日	4 保育はじめ	5 発育測定	6	7 ダンス教室	8
	9	10 成人の日	11 布団乾燥 英語あそび教室	12 太鼓教室	13	14	15
	16	17 体育あそび教室	18 発表会予行 (乳児)	19 布団乾燥 発表会予行 (幼児)	20	21 ダンス教室	22
	23	24 体育あそび教室	25 発表会予行 (乳児)	26 誕生日会 太鼓教室 無料法律相談	27	28	29 第7回 生活発表会 (乳児)
	30	31 体育あそび教室	1月 元旦				

Merry Christmas and Happy New Year!



CHRISTMAS GALLERY



とんぼ組
スノードーム
透明のコップの中に松ぼっくりのツリーと写真を入れました。



先生方のハンドベル演奏
♪きよしこの夜

サンタさんと一緒に歌って踊って大騒ぎ！質問コーナーではサンタさんの秘密を教えてください、みんな大喜びでした！



自分たちで飾りつけたプレゼント袋を見せ合っ